

北陸新幹線敦賀延伸・リニア中央新幹線名古屋開業に向けて（影響対策行動計画）の概要

北陸新幹線敦賀延伸・リニア中央新幹線名古屋開業に向けて ～住む人・訪れる人双方が誇れるまちを創る～

1. 計画策定の目的

本計画は、北陸新幹線敦賀開業（令和5年）やリニア中央新幹線名古屋開業（令和9年）といった高速鉄道整備による金沢市への影響を見極め、その効果を最大限に引き出していくため、有識者による「影響対策検討会議」、府内各課による「影響対策検討プロジェクト」を開催し、影響の整理や実施すべき施策を議論し、とりまとめたもの。

2. 計画の推進

計画は、令和2年度（2020年度）～令和8年度（2026年度）までの7カ年で取り組むべき事項を示すものであり、府内各課において施策を推進する。

令和5年（2023年）に予定されている北陸新幹線敦賀延伸後の時期を目処に、計画全体の取組み状況や施策の効果を検証し、必要に応じて、本計画を見直すこととする。

3. 新幹線延伸及びリニア開業により考えられる影響

北陸新幹線敦賀延伸により考えられる影響

基本的事項	<ul style="list-style-type: none">北陸や金沢への関心の高まりと来街者の増加関西圏・中京圏との所要時間短縮。他方、敦賀乗継による心理的制約の発生飛行機を介した広域交通網の縮小
観光分野	<ul style="list-style-type: none">広域周遊観光の手段・エリアの充実外国人観光客の増加
宿泊産業・都市開発	<ul style="list-style-type: none">宿泊施設の供給拡大と多様化都市開発の加速と良好なまちなみの喪失観光業をはじめとした労働力の不足
経済活動・MICE	<ul style="list-style-type: none">MICE需要の増加企業進出の加速や拠点の統廃合
市民生活	<ul style="list-style-type: none">大都市圏への転出者の増加進学や移住による転入者の増加市民と観光客の交流の増加観光客の増加による市民生活への影響の継続・拡大並行在来線の役割の変化と経営への影響

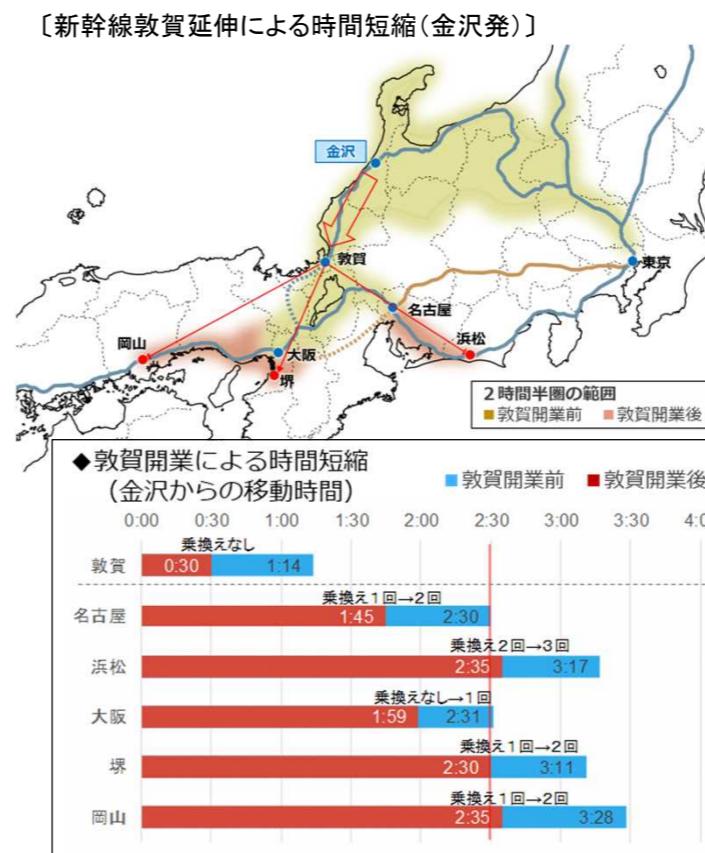
リニア中央新幹線名古屋開業により考えられる影響

	<ul style="list-style-type: none">リニア沿線地域の発展と新しいビジネススタイル・ライフスタイルの創造・普及都市・地域間競争の拡大
--	--

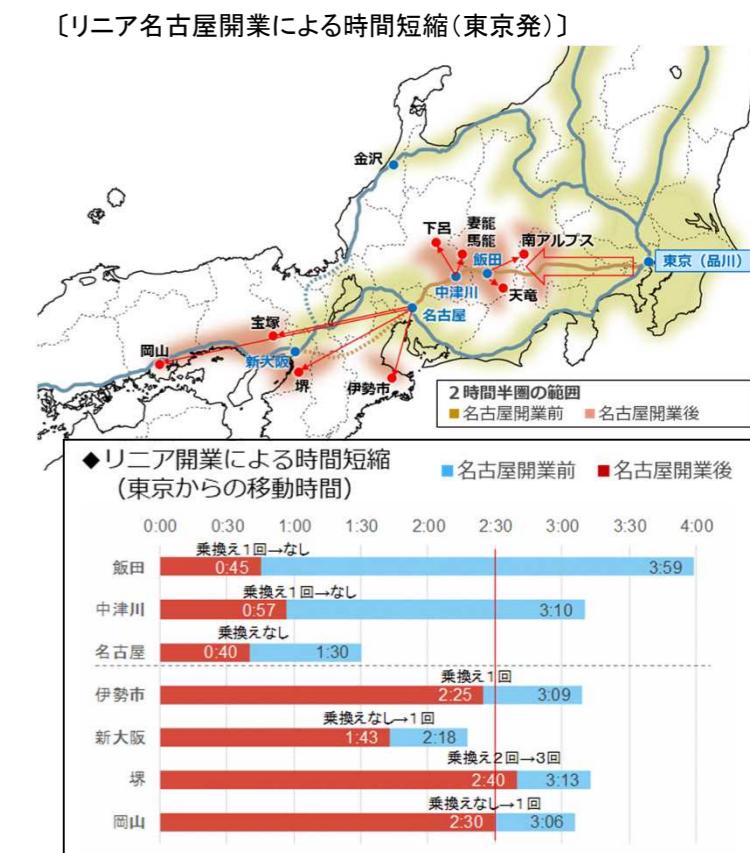
4. 計画の目標像

～金沢と他地域とのネットワークによる
「対流」を活用しつつ、世界に開けた、
住む人・訪れる人双方が誇れるまちを創る～

北陸新幹線・リニア中央新幹線による新たな環状ネットワークの構築による他地域と金沢の新たな関係性のなかで、世界の「交流拠点都市金沢」の実現を図るために、目標像と9本柱の施策を整理した。



出典:【新幹線所要時間】収支採算性及び投資効果に関する詳細資料、国土交通省(2012)
※その他の必要時間は時刻表を参照、敦賀駅での乗換え時間を10分と設定
※速達タイプの金沢～敦賀間の停車駅は、福井のみと想定



出典:【リニア所要時間】長野県リニア活用基本構想、長野県(2014)
※その他の必要時間は時刻表を参照、リニア駅での乗換え時間を15分と設定

計画策定の経緯（検討経過）

令和元年 7月	第1回 影響対策検討会議
10月	第1回 影響対策検討プロジェクト
11月	第2回 影響対策検討会議
令和2年 1月	第2回 影響対策検討プロジェクト
1月	第3回 影響対策検討会議
2月	新幹線延伸・リニア開業影響対策検討会議報告書 市長提出
	第3回 影響対策検討プロジェクト 「行動計画」策定

北陸新幹線敦賀延伸・リニア中央新幹線名古屋開業に向けて（影響対策行動計画）の概要

5. 施策の方向性

施策の内容	実施すべき施策（一例）
〔文化・学術・産業〕 1. 金沢の歴史・文化を活用し、魅力あるまちを創る ①民間活力を生かしながら、美しいまちなみを守り、創出 ②市民や事業者の建築やまちづくりに関するリテラシーの向上 ③金沢の歴史、伝統、文化に触れ、体験・実践できる環境づくり	・保存と開発の調和に向けたまちづくりを推進 ・まちなかにおける用水の修景を促進 ・「木質都市・金沢」を創出
2. MICE開催・企業誘致の促進 ①ミーティングやコンベンション、文化スポーツイベントに加え、インセンティブツアーの誘致と受入体制の構築 ②立地の優位性（交通至便や災害リスクの低さなど）を生かし、企業の進出を促進 ③多様なオフィス空間（サテライトオフィスなど）の確保	・インセンティブツアーの誘致を推進 ・ユニークベニューの活用を推進 ・金沢AIビレッジを形成し、まちなかでのクリエイター等の活動を促進
3. 市内産業の活性化とイノベーション ①新幹線による交流強化を生かし、地域企業や金沢に魅力を感じる企業家を育て、支え、集積 ②AIなどの技術による企業、市民、観光客の利便性向上	・価値創造拠点を整備し、共創・成長するコミュニティの形成やクリエイターの育成、起業家の支援等を充実
〔市民生活〕 4. 来街者増加と市民生活の良好な調和 ①まちの美化・治安維持に向け、指導・監視に加え、「ナッジ」を強化 ②都市内の蓄積を生かした、歩いて楽しめる都市（ウォーカブル都市）の推進 ③市民のもてなし力の向上及び災害時における市民・来街者の安全の確保	・官民連携の会議において新たな計画を策定し、持続可能な観光を振興 ・簡易宿所等の適正な運営の指導を強化 ・駅西広場やまちなかの広場・公園等の公共空間を官民連携により活用
5. 転入者の地元定着・関係人口化、移住の促進 ①進学や移住による転入者に対する、移住支援や居住支援の充実 ②金沢らしいライフスタイル（生活習慣）の継承、発信の強化	・まちなかで学生が文化に触れる機会を充実 ・転入者に対する、金沢らしいライフスタイル（生活習慣等）の発信を強化
〔交通〕 6. 市内外の移動の円滑化・利便性の向上 ①市内周遊の充実や混雑解消のため、まちなかの公共交通などの移動環境の不便を解消 ②新幹線、飛行機、クルーズ、高速バス、レンタカーなどの多様な交通モードへの対応	・フリー乗車券の利便性を向上 ・主要観光スポット周辺バス停の待合環境を改善 ・クルーズターミナル整備を契機としたベイエリアの回遊性を向上
〔観光〕 7. 新たな市内観光の楽しみを創る ①主要観光地だけでなく、市内各所での周遊や体験型観光などを充実し、新たな魅力を提供するとともに観光客を分散化 ②季節や時間帯に応じた細やかな都市の魅力を発信	・ビッグデータやICT等を利用し、観光動態（流動）を分析 ・最先端技術を活用し、観光客によるまちなかの混雑を緩和 ・魅力的な夜間景観を創出
8. 広域周遊観光・滞在型観光の拠点化 ①広域交通網の充実を生かし、多様な観光ニーズに対応 ②まちの魅力や宿泊施設の充実を活かし、滞在型観光や二拠点生活の支援	・敦賀延伸沿線都市との連携プロモーションを推進 ・中・長期滞在する訪日外国人等を対象としたワーケーションを推進
9. 金沢の魅力を伝え、広める ①金沢の食や生活などの魅力や価値を伝えられるような見える化・情報発信の強化 ②県外(国外を含む)でのプロモーションなどの充実	・金沢中央観光案内所を活用した情報発信を強化 ・欧米豪における誘客プロモーションを強化